

立教大学

乱歩 の 脳内 に 分け入る

公開講演会



芦辺拓・江戸川乱歩
『乱歩殺人事件——「悪霊」ふたたび』
(2024年 KADOKAWA)

『乱歩殺人事件——「悪霊」ふたたび』は
こうして書かれた

2024年 **11月6日** **水** **18時～20時**
(開場17時30分)

会場：立教大学 池袋キャンパス 5号館 5121教室
〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1

申込不要 入場無料 100名 先着順(どなたでもご参加いただけます)

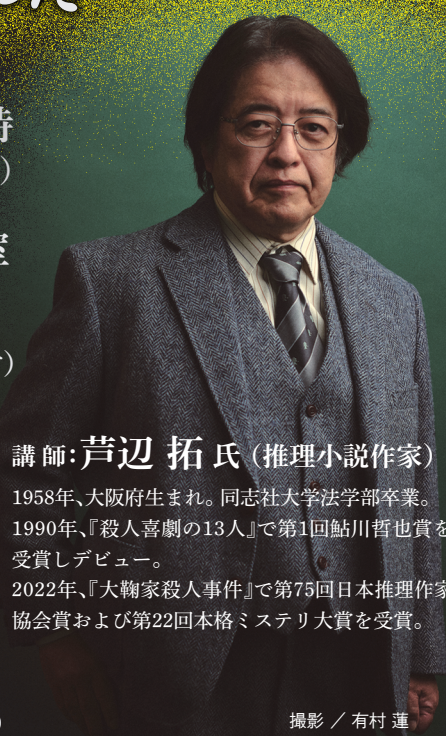
1933年、江戸川乱歩が久々の本格推理小説として連載を開始した「悪霊」。第3回目まで発表され注目を集めたものの、その後は思うように筆が運ばず休載が続き、結局「作者としての無力を告白」し中断となりました。多くの謎が解かれないうまま未完となった本作を、90年を経て芦辺拓氏が『乱歩殺人事件——「悪霊」ふたたび』として完結させました。本講演では、乱歩が投げかけた謎にどのように向き合い、物語として再構築していったのか、その創作の背景を語っていただきます。

主催：立教大学江戸川乱歩記念大衆文化研究センター 後援：豊島区
お問い合わせ：Tel：03-3985-4641 E-mail：rampo@rikkyo.ac.jp

※当日は会場にて『乱歩殺人事件——「悪霊」ふたたび』の販売を行います。講演終了後、会場でお買い上げの方を対象に芦辺拓さんのサイン会を実施します。

同書のほか、ご持参の芦辺さん著作にもサインをもらうことができます。

※旧江戸川乱歩邸は改修工事のため、当日の見学はできません。



講師：芦辺 拓氏 (推理小説作家)

1958年、大阪府生まれ。同志社大学法学部卒業。
1990年、『殺人喜劇の13人』で第1回鮎川哲也賞を受賞しデビュー。

2022年、『大鞠家殺人事件』で第75回日本推理作家協会賞および第22回本格ミステリ大賞を受賞。

撮影 / 有村 蓮